



【市政報告】

発行：番匠 映仁 枚方市出口 3-2-25-807

TEL：080-2523-8769

bansho.t@ban-teru.com

No.16  
2022.2

1月緊急議会（補正予算）ご報告（1月18日）

令和3(2021)年度 一般会計補正予算

補正額：約12.6億円の増額

補正後の総額：約1,693.4億円

子育て世帯への臨時特別給付事業費：約9.4億円

【市独自】国制度で対象外になった子育て世帯に児童一人当たり10万円を給付

妊婦への臨時特別給付事業費：約2.1億円

【市独自】2022年1月1日時点の妊婦、または3月31日までに妊娠届出書等を提出された妊婦の方に10万円を給付

小学校階段昇降車購入経費：約1,000万円

新学期に向け、小学校にて階段昇降に配慮が必要となる児童への対応／3台分



12月定例会議会（補正予算、契約締結）ご報告（12月8日～22日）

令和3(2021)年度 一般会計補正予算

補正額：約172.6億円の増額

3回目ワクチン接種体制確保事業費：約3.0億円

3回目ワクチン接種対策事業費：約3.3億円

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種に係る接種業務委託およびコールセンター拡大等体制確保事業経費



・ワクチンの供給環境が整い次第、躊躇なくワクチン接種の前倒しを！

・国の定めた『特に接種をお勧めする方』へは、「誰ひとり取り残すことなく」という思いで「お勧め」を！

※『特に接種をお勧めする方』：高齢者、基礎疾患を有する方など

ばんしょうの質問 3回目接種の必要性について 市民への周知方法は？

市答弁 接種対象者に送付する接種券に同封する「追加接種のお知らせ」など丁寧な周知に努める

子育て世帯への臨時特別給付事業費：約31.9億円

【国制度】18歳以下の子ども1人当たり10万円給付

■支給対象者

- ① 令和3年9月分の児童手当支給対象児童⇒12月24日（金）振込済
- ② 令和3年9月1日から令和4年3月31日に生まれた新生児 ⇒ 児童手当認定後、翌月末頃に振込予定
- ③ 令和3年9月30日を基準日として、平成15年4月2日から平成18年4月1日生まれで養育されている児童（高校生世代） ⇒ 申請必要

■支給額

対象児童1人につき10万円（現金一括支給）

- ※ 児童手当支給基準同様の所得制限あり（1月議会にて所得制限なしに）
- ※ 公務員は申請必要

住民税非課税世帯への臨時特別給付事業費

：計約78.1億円（12月議会77.1億円＋1月議会1.0億円）

【国制度】住民税非課税世帯および家計急変世帯への10万円給付

小中学校教室整備事業費：2.0億円【債務負担行為】

児童数が増えている菅原東小学校の教室を6室増設。令和4年度末完成、令和5年4月から使用予定

契約締結

樟葉駅前広場ロータリー改良工事請負変更

【契約金額】変更前：1.38億円 → 変更後：1.46億円

【受注者】大神工業(株)

【変更内容】ロータリー内の安全対策

※工事期間に変更なし【2022(令和4)年1月31日まで】





一人ひとりの笑顔が、ひらかたブランドを創造！ ～ひらかた万笑！～  
“スポーツの力”で枚方ブランドを最大化！

ばんしょう

ばんしょうの視点

枚方市には、他市には絶対真似できない『スポーツ資源』があります。「する」「観る」「支える」という『スポーツ』の観点と「健康」「福祉」「防災」「防犯」などあらゆる施策と組み合わせることにより、“スポーツの力”を引き出し、地域経済のみならず枚方市民の活力をさらに大きなものとし、枚方ブランドを最大限に高めることができると私は確信しています。

これからできることが無限にある**スポーツを市の政策の中心に据えるべき！**  
笑顔と魅力のあふれるまちへの提案です。具体的には丁寧に提案していきます。



ばんしょうの質問

「観るスポーツ」と「健康」の組み合わせの取り組み状況は？

**市答弁** 具体的な取り組みはない。「観るスポーツ」としては、賑わいの創出やまちのイメージ向上を目指している

地元スポーツチームとの市内経済の活性化の取り組みは？

**市答弁** 地域経済の活性化を目的に今後も地元スポーツチームの周知につながる取り組みを積極的に行う

今こそ、“スポーツの力”を信じて、スポーツを市の政策の中心に据え、枚方のブランド価値を最大化すべきと私は考えるが、**市長の見解は？**

**市長答弁** 確かに枚方市には様々なスポーツの資源がある。スポーツの推進、文化芸術などを活用して活性化を図っていきたい

不登校は予断を許さない状況。ICTを活用し、新しい選択肢を！



ばんしょうの視点

「誰一人取り残すことなく、一人ひとりの能力を最大限に伸ばす教育」を目指し、ICT機器を活用すべきと考えます。**ハイブリッド型授業の総括**とともに、**全国で約20万人、枚方市立小中学校では698人とされる不登校児童生徒に対しては、ICTを活用した新たな選択肢の構築を求めました。**また、教師が子どもの心の声を聴くきっかけをつくるため、以前から要望している**子どもの気持ちを可視化するツールの全校への導入**についても再度求めました。



ばんしょうの質問

夏休み明けから実施したハイブリッド型授業、学校側の準備ができていなかった？

**市答弁** ハイブリッド型授業を実施するにあたり、学校では対面授業とオンライン授業両方の準備に時間を要した。今後感染拡大が起こった場合に備え、現段階から準備をしている

機器の導入が完了しているのならば、698人とされる不登校児童生徒に対して、他の先進事例を参考に専門スタッフを配置し、双方向のオンライン教室を開設しては？

**市答弁** 現在、不登校児童生徒のオンライン授業は学校からの配信を行っている。また、学校とのつながりに困難さ等を感じている児童・生徒が学ぶ場である枚方市適応指導教室「ルポ」では朝の会などでICT機器を活用している

3回目ワクチン接種 市民への的確で速報性のある情報周知を！



ばんしょうの視点

3回目接種は、これまで以上にタイムリーに情報を市民にお伝えしていかなければならず、ホームページの情報が肝にならざるを得ません。LINEなども活用した積極的な情報提供を求めました。また、高齢者には特にクチコミを重視される方も見受けられるため、地域の様々なコミュニティや民生委員さんなどの**人的ネットワークへの情報共有**についても求めました。

ばんしょうの質問

今後の接種券の送付時期の見直しの考えは？前倒し対応方法は？

**市答弁** 現時点(12/17)では、どのような対応が可能か検討を行っている

※一般質問当日(12/17)に厚労省の事務連絡にて**高齢者は7カ月以上経過した後に追加接種できるとされ、12月末に枚方市は2月接種分からの前倒し方針を示しました**

3回目接種を進めていくには、モデルナワクチンも使用することになる。いわゆる**交互接種に関する情報の周知と理解の進め方は？**

**市答弁** 交互接種の有効性や安全性、副反応など、国から示される様々な情報を広報ひらかたや市ホームページなどを活用し周知する

